

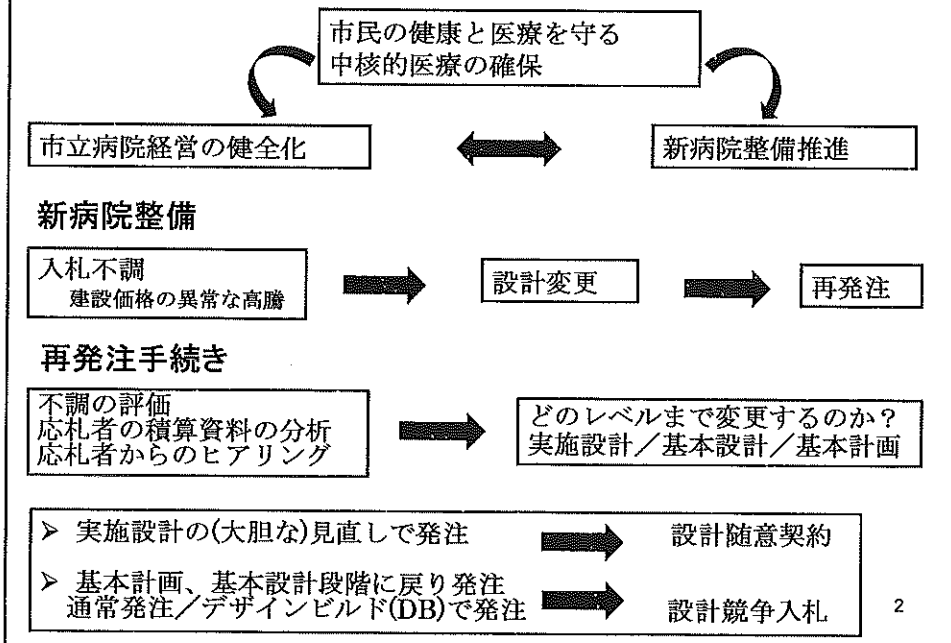
野洲市民病院整備運営評価委員会

野洲市民病院整備工事について

令和元年12月17日

市民病院整備課

市民病院の今後の対応



入札結果の検証結果(概要)

・入札結果

参加業者 3社 (うち1社は事前辞退)
 最低応札額 9,704,200,000円 (税込)
 予算限度額 8,500,000,000円 (税込)
 差額 約12億円

・検証方法

設計積算額と見積り内訳との比較
 参加業者へのヒアリング

・検証結果

高力ボルト等の鉄骨、金属関連を中心とした資材価格及び技術作業員不足による労務費の高騰による影響が大きい。

発注方法の検討と確定

新病院再発注における方法の評価

方法	利点等	欠点等	評価
実施設計を見直す	事務作業量が少ない 経費が少ない	床面積削減し機能及び空間の再検討が必要	◎
基本設計段階に戻る	事務作業が簡明	作業量が多い 時間がかかる 経費が多	✖
デザインビルド(DB)	工事受注が見通せる	受注業者が限られる 費用対効果が不明	○
ECI方式	工事受注が見通せる	特殊工法なく馴染まない 費用対効果が不明	✖



実施(基本)設計見直し

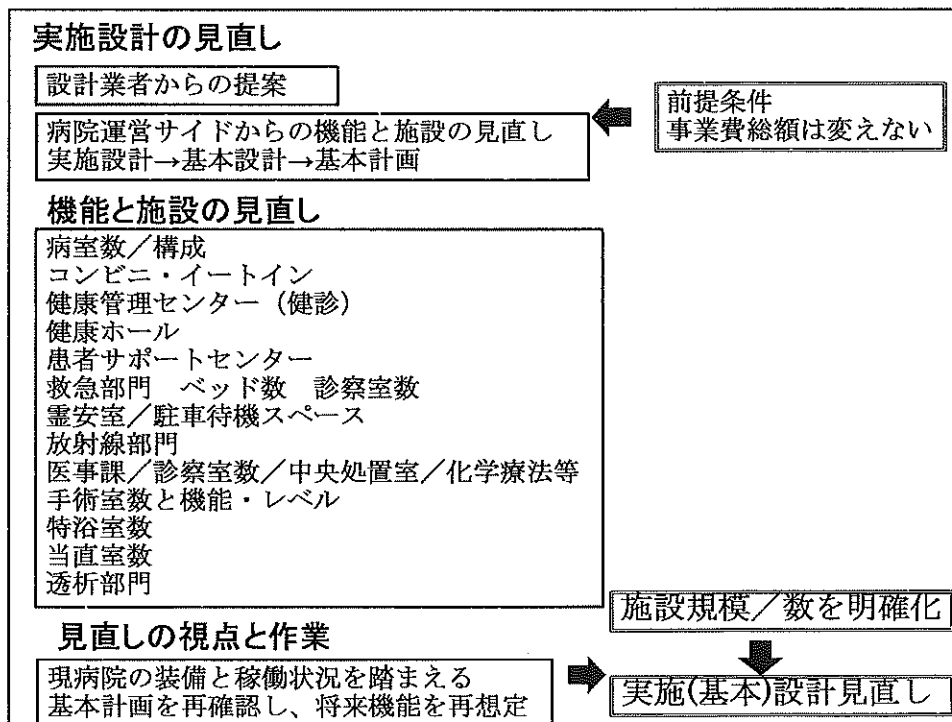


工事再入札 (一般競争入札)

市民病院設計見直しの基本方針(案)

- 現実施設計を基本として見直す
- 当初建設費（予算上限額）の増額を行わない
- 超急性期病院と診療所(在宅支援)の間の位置づけを再確認
- 必要な機能を改めて明確にする
- 意匠よりは機能、安全、快適性を優先する
- 実施設計委託前の原案には病院スタッフ、医療関係者、大学等の意見を反映
- 速やかに作業を進め、今年度内に実施設計を（随意契約）委託【補正予算案の議決】

5



原設計からの主な変更(検討)事項

- ✓ 病床数:199床 ⇒ 180床程度
- ✓ 病棟構成:5病棟(40床/1病棟) ⇒ 4病棟
 - 急性期(2病棟) 急性期
 - 地域包括ケア(1病棟) 地域包括ケア
 - 回復期リハ(1病棟) 回復期リハ
- ✓ 外来診察室:23室 ⇒ 20室程度
- ✓ 健康ホールの中止
- ✓ コンビニ・イトイン ⇒ 売店(面積縮小)
- ✓ 手術室:3室 ⇒ 2室
- ✓ 当直室 ⇒ 5室程度
- ✓ 健康管理センター(健診)の検査諸室を外来と共用化
- ✓ 2階吹き抜けの中止 ⇒ 諸室を配置
- ✓ 事務部門の面積縮小
- ✓ 各諸室の配置変更、縮小

設計見直しのスケジュール及び財源(案)

業務期間

- ・変更設計:6か月程度
 - ・法手続き:6か月程度
(構造計算、大臣認定、建築確認申請等)
- ⇒再入札までには、少なくとも1年は必要な状況

業務委託料等

- ・設計業務委託

- ・建築確認申請等手数料

- ・技術支援業務委託

⇒市議会に対して予算補正の提案を予定

財源

- ・社会資本整備総合交付金を最大限に活用する。